



アンチバイオグラムを活用しよう!

第2回抗菌薬適正使用研修会で
アンチバイオグラムの活用について
お話がありました。

アンチバイオグラムとは「**院内（地域）**
で検出された細菌ごとの抗菌薬の感受性
率をある一定期間集積し、そのデータを
表にしたもの」の事です。

細菌の培養結果が確定する前の初期治療時
に**患者背景、感染臓器、迅速検査（グラム染色、**
迅速抗原検査等）から病原体を想定し、**抗菌薬選択時にアンチバイオグラム表示の抗菌薬を選択**
すると有用です！現在、当院では**アンチバイオグラムの更新は2024年から半年に一度とし、グ**
ラム染色結果も（至急報告を除き）最終報告のみであったところ、中間報告も加えています。

初期治療 (Empiric therapy)

- 推定されるフォーカスの起炎菌に対して有効な抗菌薬を投与すること
✓ なんでもかんでも「広域抗菌薬」ではない
- 検査が優先される
✓ 起炎菌検出に全力を注ぐ
- 迅速検査で病原体が絞り込める場合あり
✓ **グラム染色**、特殊染色（抗酸菌、レジオネラなど）
✓ **迅速抗原検査**（溶連菌、レジオネラ、インフルエンザなど）
- 抗菌薬の実際の選択
✓ **ガイドライン、治療ガイド、アンチバイオグラム**を参考とする

薄田大輔：令和6年度第2回抗菌薬適正使用研修会
感染症診療の進め方より引用

【アンチバイオグラムの閲覧方法】（詳細は院内感染対策便り60号を参照）

- ① 電子カルテトップ画面から見る：院内LAN ファイル置き場→感染対策→アンチバイオグラム
- ② 患者カルテの細菌WEB結果を開き、画面の左上の「アンチバイオグラム」のアイコンを押すと検出されたすべての細菌の薬剤感受性率も閲覧可能。

【グラム染色結果の閲覧方法】

- ① 患者カルテの検査歴一覧より一般細菌歴を閲覧
- ② 患者カルテの細菌WEB結果を閲覧

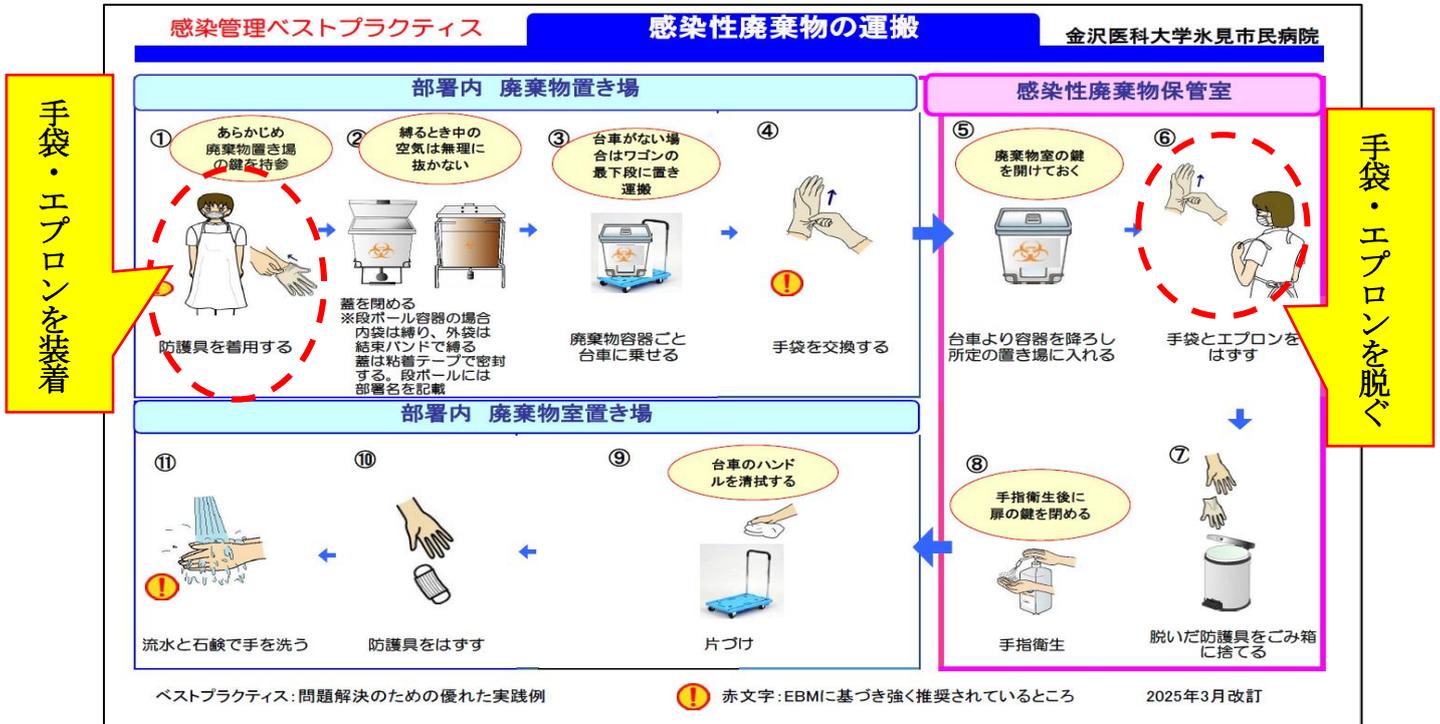


参考資料 1) 薄田大輔：令和6年度第2回抗菌薬適正使用研修会 感染症診療の進め方
2) 海住博之：サーベイランス、アンチバイオグラムの活用法 Medical Technology vol. 47No4 (2019. 4)

感染対策・マニュアル変更

院内感染対策マニュアルの改訂第6版を3月末に発行します。改訂内容を2つお知らせしますので周知・徹底をしてください。

1, 感染性廃棄物運搬方法: ビニールエプロン着脱を追加



2, 感染性リネンの搬送時の注意

血液などで汚染したリネンにバイオハザードマークを貼っていましたがこのマークは**感染性廃棄物に貼る**もので洗濯するリネンや寝具に貼るものではありません。今後はビニール袋に汚染の種類（血液・便・尿など）を黒マジックで記載し、赤色のリネン袋に入れてください。マークのシールを貼らないでください。



バイオハザードマーク

【記：看護部 岸田 直美】

R6 年度手指生優衛秀者表彰

感染防止するために一番重要で有効な方法の手指衛生実施の優秀者と優秀部署を表彰しました。

部署：血液浄化センター
5階東病棟、5階西病棟
中央臨床検査部
小児科外来

個人：4名（3階東病棟、5階西病棟、5階東病棟、血液浄化センター）